

市長と語る会(上野南部地区住民自治協議会)

平成27年7月19日(土)午後7時30分～午後9時
上野南部地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
都市計画道路の整備について	南平野木興線の整備は、具体的にこれからどうなるのか、ルートはどうなるのか、期間がどれぐらいかかるのか教えてほしい。	都市計画道路は、すべて路線を一度に工事着手することはできませんので、まずは、伊賀上野橋新都市線、服部橋新都市線、次に南平野木興線という形で取り組んでいます。 期間としては5年、10年の期間を積み重ねないと、土地を買う必要もありますし、家の移転も出てきます。あるいは水道、下水道、ガス管といった、ライフラインの整備も必要ですので、事業者と打ち合わせをして、進めていきたいと考えています。 計画ですと、木興町の交差点から約50メートル北側へ接続することになります。そうすると交差点がすぐ近接にあり危険な状態になりますので、ルートについては、真っ直ぐ行くルート、あるいは木興町の交差点へ行くルートなど少し広い形で考えています。
	計画で家を建てられないところが沢山ある。事業をしないのであれば計画から外してほしい。	ルート上に土地、家屋をお持ちの方のご意見は、しっかり受け止めさせていただきます。都市計画道路の計画を消すには県の都市計画審議会に諮る必要があります。今、伊賀市域全体で土地利用の見直しもしています。将来的に道路整備が見込めないルートも出てきますので、整理する必要があると思います。 南平野木興線は、東西の重要ルートですので、消すことはできないと考えています。
	都市計画道路の整備順位について、重要度を評価したのか。2番目のルート(服部橋新都市線)と3番目のルート(南平野木興線)を比較したときに、市民のための安全性から考えると3番目のほうがよほど大事だと思う。どんな議論をしたのか教えてほしい。	今資料を持っていませんので、後日、回答させていただきます。
	道幅が狭い。救急車が入れるように、愛宕町の角の電柱だけでもよけてくれないか。	電柱の間隔は一定決まっていますが、多少の移動は可能かと思います。道路管理上の話で、できるものであれば検討させていただきます。見通しが立てば、市民センターあるいは自治会長へ報告させていただきます。
市民センターの改修について	市民センターのトイレが男女共同です。男女を別々に、併せて洋式にしたい。 男女共同参画について、自治協の役員も30%の登用を言われています。女性が活動に参加しやすい場をつくっていくためにも改修をお願いしたい。 ここは避難所にもなっている。	現在、第3次地区市民センター整備計画を作成しているところです。公共施設最適化計画を踏まえ、市民センターの長寿命化をはかる計画としています。 耐震化のできていないところから、順次工事を進め、屋根の防水、トイレ、冷暖房設備を順次行っていきたいと考えています。 避難所になっていることを踏まえ、優先的にしていけないといけなことは十分承知しています。

空き家対策について	国が空き家対策の推進に関する特別措置法を制定した。勧告、通告に従わなければ、固定資産税の減免がなくなるとか、罰金を科せられるとか、伊賀市の条例とは比べものにならないほど、厳しいものです。その内容を説明していただきたい。また、伊賀市としてどう対応するのか教えていただきたい。	5月26日に、空き家対策特別措置法が全面的に施行されました。管理が必要な空き家に併せて、空き家の活用が可能なものについては活用して、新たな老朽空き家をつくらないという、活用も含めた総合的な法律です。伊賀市では空き家対策を総合的に取り組んでいくために、空き家対策計画を作って取り組んでいきます。
避難所の運営について	上野南部地区は他の地区のように学校がなく、現在の避難所2か所には収容しきれないことから、多くの住民が他地区の避難所へ避難することになるが、避難所開設時の運営責任者はどのように決められているのか。また、それぞれの避難所運営マニュアルは完備されているのか説明していただきたい。	避難所は、原則、避難住民の方が自主的に運営していただくことになっています。広域的なことになるので、共同で運営していく必要があります。そのためには、マニュアルの必要性が出てくると思います。相対的に、旧村部の自治協では、避難マニュアルが整備されつつあります。上野地区はほぼできていない状況です。避難所のことも含め、マニュアル作成について、私たちも相談、支援させていただきます。
AEDの設置について	上野南部地区市民センターは、年間12,000人以上の市民がサークル活動などで利用しているため、緊急時の備え、AEDの配備を要望します。	AEDは睦保育園には1台設置されています。現在のところ配置できません。
	コンビニにAEDを設置してはどうか。	良いアイデアだと思います。コンビニは24時間開いているので、取り入れていったら良いと思います。
	AED設置場所は把握しているか。	AEDについては、公共施設、事業所を含め、市内で250か所程度設置されています。市のホームページでも設置場所は公開しています。また、暮らしのガイドブックには公共施設の設置場所は掲載します。
火災発生件数と対応について	市街地では、老朽家屋が密集しており、大震災時には同時多発的に火災が発生するものと想定されます。大震災時における市街地での同時火災発生件数は何件を想定し、消防本部での消火対応限度は何件までと想定していますか。	大震災における当市での火災想定は、南海トラフの地震での最大値は20戸、頓宮断層の地震では最大30戸の火災が想定されています。それに対し、消防署の対応は、現在11台の消防ポンプ自動車を配備しています。2台を1隊として活動するので5～6件の火災対応になると思います。それに併せて、消防団が保有する消防ポンプ自動車4台及び111台の小型動力ポンプにより、火災対応を行います。
防火水槽と消防ポンプの増設について	消火栓を補完すべく、耐震性の防火水槽と消防ポンプのさらなる増設を要望します。	当地区を消防署が管理する消防ポンプ自動車の数は2台、消防団が管理する小型動力ポンプの数は9台。国の指針どおり、消防ポンプについては100%整備できています。消防水利は市街地には、防火水槽、消火栓を含め254必要ですが、202の整備です。充足率は約80%。伊賀市全体では64.3%です。市全体を考え、充足率の低いところから整備していくこととなりますので、ご理解をお願いします。

下排水処理について	市街地の下排水処理について、昨年度は計画の見直しをすると聞いたが、その内容と進捗の説明をお願いしたい。	<p>現在、伊賀市生活排水処理施設整備計画の見直しに着手しています。市街地の下水処理については、中瀬、府中、三田、高倉、小田まで広範囲の処理区域でしたので、分離して、事業費を抑え、早期の処理場の設置を考えています。</p> <p>地域によっては農業集落排水事業、あるいは合併浄化槽に転換していただきます。具体的に地域に説明させていただいて、実現可能な整備計画にしたいと考えています。</p>
浄化槽の清掃料金について	浄化槽の清掃料金が20～30%アップした。4月以降、大幅に値上げされた理由を聞かせていただきたい。	<p>浄化槽汚泥の収集料金は、市が直営で収集を行っていない為、市が収集の許可を与えた業者が設定しています。料金単価については従来11,000円/tでしたが、昨年度値上されました伊賀市の集落排水施設の汚泥収集料金の単価を参考に、本年度より13,000円/tの設定となりました。</p> <p>また、名張市が16,000円/tの設定であると共に、県内他市町の料金は約14,000円/tから15,000円/tであり、料金の均等化を図るため県内の業者より依頼があったとも聞いております。詳しくは伊賀環境有限責任事業組合までお問い合わせください。</p>
空地対策について	<p>空地から竹が伸びてきて困っている。市から手紙を送っても届かなかった。持ち主は誰かわからない。</p> <p>竹藪の竹は個人財産なので、隣の人が切ったら問題がおきる。切りたくても切れない。行政はどういう考えを持っているか聞きたい。</p>	現場を見せていただき、法律の専門家にも聞いて、どういふ対応ができるか考えさせていただきます。